

大学院生の皆さんへ

大学院研究科長 ^た高 ^か井 ^な那 ^み美

近年の情報化社会の動きはあまりに早く、その真っ只中で自らの人生を切り開いていく皆さんには、かつてとは違った価値観に対応していく能力が求められています。多様性が尊重されるようになり、その中で自分の存在価値を高めるためには、セルフプロデュース・セルフブランディング等の言葉に代表されるように、個人のあり様を深く考えていく必要があります。これらの言葉には華やかなイメージがあり、自分を飾り立てることに注目しがちです。しかし、大事なのは「自分の強みが何であるか」ということであり、またそれを更に強化させていくことです。皆さんの強みを磨き上げる場、それが大学院というところです。

IT 社会の到来と国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、「産学協同の精神の下、豊かな国際性、創造力ある人間性を涵養し、実学に裏付けられた実践的な専門教育を通して、我が国の国際情報通信社会の進展に貢献する高度情報通信技術者を育成する」ことを使命としています。「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念とし、情報社会・文化の進展に寄与する人材育成を教育目的としています。

本学大学院経営情報学研究科は1996年（平成8年）に開設され、経営や情報、マルチメディアなどの専門分野においてより豊富な学識と実践的で高度な専門知識及び技術修得を追求し、創造性豊かな社会人・技術者・研究者並びに先端科学技術の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目標としています。学部教育を基礎として、社会の様々な分野で利用できる高度な知識と技術を講義や演習さらには研究開発を通して学びます。2021年度からはデジタルビジネス・マネジメント、システムデザイン、クリエイティブメディアの3分野を本学大学院の研究開発分野とし、問題発見能力とその解決力を育成すべく、実践的な場を想定したカリキュラムを用意し、これからの社会において活躍する人材の育成を目指しています。そのためには、社会に貢献できる高度な専門知識・技術力、深い見識と専門分野に立脚した論理的思考力・表現力・コミュニケーション能力、当該分野の専門知識にとどまらない広い分野の見識、継続的・発展的な自己啓発能力が必要です。本学大学院で、これらの知識を獲得し能力を培いながら、自分の強みを把握して発展させていってください。既に本学大学院では190名ほどの修了生を社会に送り出しました。修了生は、それぞれの分野で専門知識や技術を生かして活躍しています。

大学院のカリキュラムは、学部と比較すると時間割に余裕があります。それは、自らの学修・研究に存分に時間を注ぐためです。こんなに贅沢な時間を、今まで持てたことがありますか。先に掲げた知識・能力を身につけるためには、勿論様々な壁にぶつかることでしょう。しかし、それもひとつのチャンスです。壁を乗り越えたり、うまく回避したりすることで、また新たな視点や別の可能性を見出せるかもしれません。ましてや、大学院では大勢の教職員が皆さんの成長を後押ししてくれます。大学院での幅広い活動の中で、しっかり自分の強みを認識し、変化の激しい時代でも流されることのない確固とした自信を手に入れることを期待しています。本学大学院で、かけがえのない宝物のような時間を過ごしましょう。